

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 23 号)

2023年 4月18日発行
 兵庫のみ研究所

海域西部において、小型珪藻のキートセロス、ギナルディア、大型珪藻のユーカンピアが確認されます。窒素は、明石海峡部～林崎漁場で1～2 $\mu\text{g-at/L}$ 台、魚住漁場以西の地先で概ね3～4 $\mu\text{g-at/L}$ 台、魚住～二見漁場の沖筋で1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下、別府漁場以西の沖筋で1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均13.8℃。昨年比0.6℃、平年比1.3℃ともに高い。(塩分) 平均32.17psu。前回(31.95)より0.22psu高い。
 (栄養塩、珪藻) 海域東部では、小型珪藻のニッチア、リゾソレニア等がわずかに確認された。海域西部では、キートセロス、ギナルディア、ユーカンピアは確認されるが、発生量は前回(4/11)調査より減少傾向にある。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、林崎～二見漁場で0～5細胞(前回値:0～7細胞)、別府～高砂漁場で5～60細胞(前回値:10～80細胞)であった。加古川河口では、陸水の影響により窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.2	13.8	12.5	13.2
窒素	3.1	2.3	2.9	1.2
リン	0.28	0.23	0.26	0.21

(4/11)

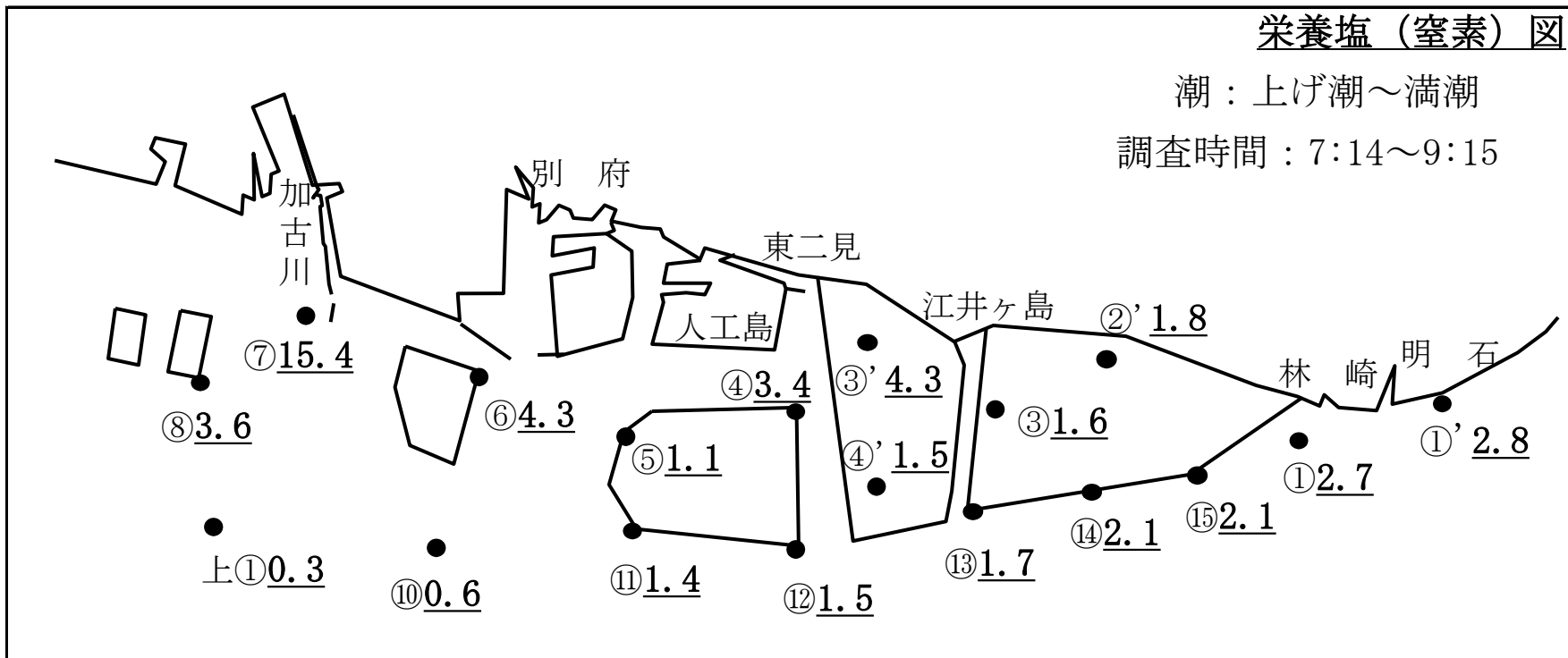
(4/14)

2023年 4月18日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:14～9:15



水温図

